

日時 8月14日(金) 天候 曇り 天理高校 対 尼崎市立尼崎工業高校
 球場 明治神宮野球場 第1試合 決勝戦 試合時間 1時間57分 備考
 審判 球審:家田 塁審:田中 並木 渡辺

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	計	安	失
尼崎工業	兵庫	0	0	0	0	0	1	0	0	0							1	3	5
天理	近畿・奈良	2	0	4	0	1	0	0	0	×							7	12	1

ニ崎工業		氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	中	前田 晃平	4	0	0	0	中飛	三振			遊ゴ		中飛						
2	二	田谷 和弘	4	1	2	0	捕ゴ	右飛			中安		中安						
3	左	達野 健太	1	0	0	0	死球		一飛		四球		四球						
4	一	高橋 大樹	4	0	1	0	三振		一邪		投安		三振						
5	捕	櫻井 大祐	4	0	0	0		二ゴ		三振		三振			三ゴ				
6	三	藤野 竜弥	4	0	0	0		二飛		三ゴ	三邪			遊ゴ					
7	遊	孫 嘉寛	2	0	0	0		死球		中飛		一直							
7	打	沖田 大輝	1	0	0	0									三振				
8	投	山本 流星	3	0	0	0		三振		一失		一ゴ							
9	右	伊藤 育実	3	0	0	0			三ゴ	捕邪		一ゴ							
合計			30	1	3	0	残塁:6 併殺:0												
備考																			

バッテリー

投手
山本 流星
藤野 竜弥

捕手

捕手
櫻井 大祐

投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
山本 流星	3	20	6	1	2	1
藤野 竜弥	5	21	6	0	1	0

天理		氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	三	田中 忠	5	1	4	1	中安	左安	中安		投ゴ			投安					
2	一	安岡 裕人	4	0	1	0	三犠	投ゴ	中飛			左安		中飛					
3	捕	加藤 稔	4	1	1	1	中安	遊ゴ		右飛		二飛		四球					
4	中	小畑 和知	5	0	1	0	二選		三邪	右飛		一ゴ		遊安					
5	右	清水 一弘	4	1	0	0	三振	四球	左飛				投ゴ	二飛					
6	遊	三浦 淳	3	1	1	0	四球	三選		一飛			左安						
7	投	中村 陽平	4	1	1	0	二失		中飛		遊失		投安						
7	一	東 建二	0	0	0	0													
8	二	高橋 達哉	4	1	1	1	三邪		中安		投飛		投ゴ						
9	左	辻 徳治	3	1	2	1		捕邪	投安		三安								
9	投	橋本 幸司	0	0	0	0													
9	打	丸田泰之	1	0	0	0								三ゴ					
合計			37	7	12	4	残塁:10 併殺:0												
備考																			

バッテリー

投手
中村 陽平
橋本 幸司
三浦 淳

捕手

捕手
加藤 稔

投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
中村 陽平	7 1/3	28	2	5	3	1
橋本 幸司	2/3	3	1	1	1	0
三浦 淳	1	3	0	1	0	0

戦評
 第56回大会の決勝戦は三連覇を狙う天理と初優勝を目指す尼崎工業の近畿勢同士の対戦となった。先制したのは天理。1回裏、尼崎工業先発山本の立ち上がり捉え、先頭田中が中前打で出塁すると2番安岡が三塁前に送りバントを決める。ベースカバーが遅れ誰もいない三塁を田中が陥れ一死三塁のチャンス。続く3番加藤の中前適時打で1点先制。なおも野選、敵失などでもう1点追加。3回裏には四球、野選で二死一・二塁のチャンスから8番高橋の中前適時打で1点追加。9番辻の内野安打で二死満塁とし1番田中の中前適時打に敵失も絡み走者一掃。この回4点を追加し6-0と試合をリードする。5回裏には前の回から代わった尼崎工業2番手藤野から、7番中村の放った強烈な打球が相手遊撃手のエラーを誘いカバーに入った左翼手もこの打球を後逸し一気に三塁を陥れる。9番辻の三塁前へのバントヒットで中村が返り1点追加。7-0とリードを広げる。天理先発中村のmax135thを越える速球を打ちあぐねていた尼崎工業打線は6回表、一死後2番田谷が中前に初安打を放つと3番達野は四球を選び、4番高橋の内野安打で一死満塁と絶好の反撃チャンスを迎える。5番櫻井へ投じた3球目がワイルドピッチとなり三塁走者田谷が本塁を踏み1点を返す。なおも一死二・三塁のチャンスだが天理中村に後続を絶たれ反撃は1点止まり。尼崎工業の藤野は6回以降天理打線を相手に走者を出すものの要所を締め追加点を許さなかった。天理は8回途中から2番手橋本、9回には3番手三浦へと万全の継投策で逃げ切り、7-1で近畿対決を制し、大会史上4校目となる三連覇を達成した。